

No. 8 Hさん	28歳（男性）
I. 前就労期（学歴、職歴、生活習慣、対人行動、気持ち）	
<ul style="list-style-type: none"> いじめを受け中2で不登校。定時制高校入学、いじめはないが登校が面倒になり高2で中退。 中学：家のお金を盗んでゲームセンターで遊ぶ。高校：親に内緒で友人と共に無免許運転。 中学・高校共に仲の良い友人がいた。ただ、その友人たちと退学後の交流はない。 いじめに対しては鬱陶しいという気持ちが強かった。 	
II. 未就労期（きっかけ、生活習慣、対人行動、気持ち、継続要因）	
<ul style="list-style-type: none"> 高校中退後、アルバイトと休養を繰り返す。人との接点がなく、ずっと1人きりだった。 職種は運送会社の仕分けなど。その時は昼夜逆転の生活。パソコンパーツが欲しくて働いた。 今考えると自分に問題があったと思うが、当時は何も感じていなかった。 	
III. 被支援期（きっかけ、支援内容とその長短、影響や変化、気持ち）	
<ul style="list-style-type: none"> ゲームやパソコンをやっても面白くなく、「中途半端だな、つまんねえな」と思っていた。最初に連絡したのは親だが、自分自身も興味があり、NPO法人●●●●に入寮した。 同世代の人間と共同生活を送り、一緒に就労体験をすることで、社会における当たり前のことや人間関係の面白さを実感した。 共同生活の中で誰かに頼られることが気持ちよかったです。また会社に何かを求めるのではなく、自分で一生懸命やって一人前にならねばいけないと思うようになった。 	
IV. 現在（就労のきっかけ、気持ち、成長可能性、今後の考え方）	
<ul style="list-style-type: none"> 人間関係をはじめ、大変なことはいろいろある。文句も愚痴も出るが、逃げたくない。 マイペースなところが自分の長所。やらねばならない場合はいつかを見極めている。 長所が生かせるようになったのは1人ではないから。1人だけでは何に対しても駄目になる。 今後の目標は、会社の上司。いつか追い抜いてやりたいと思っている。 	